

# 乾燥杜仲葉投与の免疫活性効果の検討

桑守正範

## 〔1〕はじめに

国民の健康と質の向上を図るために現在までさまざまな取り組みがなされてきた。それらの取り組みにより改善へと向かっているものもあるが、未だ解決すべき問題は多いのが現状である。

本研究は筆者が平成10年から取り組んでいる杜仲研究の一端であり、杜仲葉の喫食による免疫活性効果に着目した研究の成果である。

## 〔2〕研究の概要

日本杜仲研究会 第4回 定期大会  
平成21年8月1日（ANAクラウンプラザホテル大阪）で  
成果の一部を口頭発表した。

乾燥杜仲投与による鶏免疫活性向上効果の検討  
○桑守 正範<sup>1</sup>、内田 教光<sup>2</sup>、目瀬 守男<sup>1</sup>（1. 美作大学短期大学部 栄養学科、2. タカラ産業株式会社 杜仲開発部）

また学術論文として、日本家禽学会誌第47巻 J1号  
（2010）22-26ページに掲載された。

乾燥杜仲投与による鶏免疫活性向上効果の検討

桑守 正範<sup>1</sup>、内田 教光<sup>2</sup>、目瀬 守男<sup>3</sup>

## 〔3〕今後の展望

本研究成果を持って乾燥杜仲葉投与が免疫活性を高めるといふ知見を得たが、乾燥杜仲中のどの成分が効果を上げているかは不明である。今後は杜仲に含まれるグッタペルカ・ゲニボシド酸・ペクチンなどを単独で投与することにより、免疫賦活効果の機構を明らかにする。

## 謝辞

本研究は、平成21年度地域生活科学研究所所員助成の研究として研究費補助を受けて行なわれた。また、本研究の実験動物（おかやま地どり）における試行実験は、小林製菓（株）、大阪大学大学院小林昭雄教授の理解とご協力を得て実施できました。この場をお借りして深くお礼申し上げます。

---

（1. 美作大学短期大学部 栄養学科、2. タカラ産業株式会社 杜仲開発部 3. 美作大学 名誉学長）